

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/11 )

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科		職名	教授	氏名	モリ マサミ 森 正美
学歴	平成元年 3月 三重大学人文学部文化学科卒業 平成 2年 4月 国立フィリピン大学(フィリピン国)アジアセンター修士課程留学 国際ロータリー財団大学院奨学生「平3.4まで」 平成 4年 3月 筑波大学大学院地域研究科(修士課程)地域研究専攻修了 平成 6年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士前期課程)中間評価論文提出 平成 9年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士課程)文化人類学専攻単位取得 満期退学					
学位	平成 4年 3月 修士(地域研究)(筑波大学) 平成 6年 3月 文学修士(筑波大学)					
専門分野	文化人類学、東南アジア研究(フィリピン)					
専門資格	専門社会調査士(第001025号)					
所属学会	平成 4年 4月 日本文化人類学会 平成 9年 6月 日本オセアニア学会 東南アジア学会 平成12年 Commission on Legal Pluralism, International Union of Anthropological and Ethnological Sciences 平成24年 2月 観光学術学会					
受賞	平成23年10月 京都市基本計画策定特別表彰					
担当 授業科目	学 部 地域デザイン概論、公共人類学、地域調査法、総合社会学演習、文化人類学演習、文化人 類学演習、卒業研究演習、卒業研究演習、卒業論文、実践人類学実習A、実践人類学実 習B					
論文指導	論文指導担当[主査](卒論：9名)					
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数		
	地域デザイン概論	講義・演習・実習・実験	春・秋	113名		
	授業の概要：地域の課題の多様性や背景について、基礎的な知識と認識をもってもらい、地域課題に当事者性をもって向き合ってもらおう。					
	教育活動の振り返り： 100名を超える比較的大規模な授業であったので、知識伝達だけでなく、参加型のアクティブラーニングを取り入れる工夫をした。 教育活動の成果： 学生たちのコメントには、回を追うごとに自分自身の意見が反映されるようになった。また京都市との課題解決型ワークショップを実施し、「危険ドラッグ防止グッズ」のアイデアを練り、実際にそれらが採用された。 今後の課題： 学生の授業満足度を向上させるために、参加型授業の割合を増やすようにする。					
・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 平成27年 2月26日 「IRの概要と事例～中小規模大学が取り組むIRのあり方～」(京都文教大学地域協働研究教育センター主催)						

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/11)

<p>F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等          演習履修学生全員に、必ず個人面談を実施し、個別のニーズに応じた相談を実施している。          3年生ゼミでは、高知県四万十川流域の学生観光キャンプに参加し、他大学の学生と共に地域資源のフィールドワーク、さらにそれらを生かした観光提案を行った。2年生ゼミでは、宇治田原町のフィールドワークを実施し、地域資源を生かしたツアー提案のPR映像を作成し、宇治田原町で開催された宇治茶世界遺産シンポジウムで学生が発表した。          地域連携学生プロジェクト「宇治 茶レンジャー」のアドバイザーとして、PBL型学生生活動の取組として、宇治市内での宇治茶接待、宇治茶まつりでの宇治茶スタンプラリー、聞き茶巡りなどの企画を実施した。さらに、京都府委託事業として、一般市民向けの宇治茶文化講座を開始し、多くの市民に宇治茶の文化と歴史を知って頂いた。</p>
<p>H26年度 研究課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多元的法体制論の人類学的研究</li> <li>2. 歴史と文化のまちづくりの文化人類学的研究</li> <li>3. プロジェクト型学習 (PBL) 教育とフィールドワーク教育</li> <li>4. ニュータウンおよび大規模団地におけるアーカイブ構築に関する人類学的研究</li> </ol>
<p>平成 二 十 六 (2014) 年 度 の 研 究 活 動 の 概 要</p>	<p>フィリピンのムスリムの多元的法体制についての法人類学的研究について、論文 “ The Controversy of Universal Human Rights versus Local Perceptions and Muslim Gender Practices in the Philippines ” および 「 普遍的な人権概念とフィリピン・ムスリム女性のジェンダー実践 」 を発表。 後述 : ( 著書 ) ( 論文 )          また、宇治市、京都府などにおいて宇治茶、文化的景観に関するまちづくりの研究と実践を実施した。さらに、観光、宇治学、商店街、コミュニティなど、地域課題をテーマにした地域志向研究に参画し、地域課題についての研究を深めた。</p>
<p>平成 二 十 六 (2014) 年 度 の 主 な 研 究 成 果 等</p>	<p>( 著書 )          1. “ The Controversy of Universal Human Rights versus Local Perceptions and Muslim Gender Practices in the Philippines ” 、共著 ( 当該部分担当 ) 平成27年3月、Tokoro,Ikuya, Nishimura Ryoko and Hukushima Yasuhiro eds. 2015 <i>Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia</i> ( 東京外国語大学出版会 ) pp. 135-152</p> <p>( 論文 )          1. 「ホスピタリティ概念の批判的考察と現場実践の架橋：青木義英・神田孝治・吉田道代編著『ホスピタリティ入門』」( 書評論文 ) 単著、平成26年9月、観光学術学会 観光学評論2巻2号 ( pp. 175-177 )          2. 「 普遍的な人権概念とフィリピン・ムスリム女性のジェンダー実践 」 単著、平成27年3月?、海上保安大学校『日本財団助成事業 海上保安制度構築支援に関する実証的研究成果報告書』 ( pp. 12-25 )</p> <p>( 学会報告、学会活動 )          国内学会役職：          ・ 観光学術学会企画理事「平24.2より」          国内学会発表・報告等：          1. 研究報告「地域プラットフォーム型人材育成における学際性と専門性をめぐる問題」、単独、平成26年7月、観光学術学会研究大会フォーラム、京都文教大学          研究報告等：          1. コメント「Institutionalizing legal Pluralism: Philippine Muslim case」、単独 ( 英語 ) 平成26年6月、関西大学法学研究所国際セミナー「Dialogue between ‘Social Theory and Legal Anthropology : 法の社会理論と法人類学との対話」、関西大学          2. 研究会報告「宇治の特性と総合学習の特性を掛け算するために」、平成26年7月、京都文教大学地域協働研究教育センター共同研究「宇治学研究会」、京都文教大学</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/11)

(学会報告、学会活動 つづき)

3. 研究報告「フィリピンの多元的法体制からみる<法のクレオール>ムスリム社会からの視点」、単独、平成26年7月、シンポジウム「<法のクレオール>と比較法文化」、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
4. フォーラム「未来をつくる「宇治学」」『宇治学フォーラム：未来に残していきたい宇治学』、平成27年2月、地域協働研究教育センター主催、京都文教大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演：

1. 報告「京都文教大学の地域プラットフォーム型産官学民連携PBL」、単独、平成26年8月、同志社大学PBL推進センター主催シンポジウム「社会・地域・産学連携の最前線を問う 連携教育としてのPBLの可能性と課題」、同志社大学
2. 講演「文化的景観を生かした旅のレシピ」、単独、平成26年9月、四万十川流域5市町連携学生キャンプ2014、四万十市立中央公民館
3. 「フィリピン・ムスリムの法と政治 マイノリティとグローバリゼーション」、単独、平成26年9月、2014年中東イスラーム教育セミナープログラム、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
4. シンポジウム報告「歴史文化の活用と持続可能な地域づくり」、単独、平成26年10月、歴史景観都市協議会 総会 宇治大会 シンポジウム、パルティール宇治

シンポジウム等記録・報告：

1. シンポジウム「歴史文化の活用と持続可能な地域づくり」(セッション記録)、平成27年3月、宇治市『第42回 歴史景観都市協議会 総会 宇治大会 報告書』(pp.28-46)
2. シンポジウム記録「景観まちづくりはコミュニティづくり」、平成27年3月、京都府『宇治茶をいかした景観まちづくりシンポジウム実績報告書』(pp.42-57)
3. 会議報告「京都府バリアフリーネットワーク会議」、平成26年12月、近畿運輸局『平成26年度近畿地域バリアフリーネットワーク会議 旅行・観光の際の移動手段の確保とバリアフリーに関する情報提供報告書』(pp.24-33)

報告書：

1. 科学研究費助成事業報告「地域プラットフォーム型人材育成における学際性と専門性をめぐる課題」、共著(当該部分担当)『観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築 中間報告書』(pp.27-31)

その他：

1. 「宇治茶と和食：世界遺産から考える公正」、共著(当該部分担当) 京都文教大学総合社会学部、『総合社会学部ハンドブック 社会をのぞく15の方法』(pp.23-30)

(調査活動)

- 平成27年 3月
1. フィリピン・ムスリムの法人類学的研究調査(於：マニラ、フィリピン共和国)
  2. 宇治茶の文化的景観に関わる調査(於：マニラ、フィリピン共和国)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

平成23年度-平成27 年度

科学研究費補助金(基盤研究B)「地域生活記憶集積メカニズムの解明とアーカイブ施設の社会実験及びその運営手法の構築」(課題番号23360263, 研究代表者: 東京大学大学院工学系研究科・准教授 大月敏雄) 研究分担者

平成25年度-現在

科学研究費補助金(基盤研究C 仮題番号25501025)「観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築」(研究代表者橋本和也京都文教大学教授) 研究分担者

平成24年度-26年度

日本財団「海上保安制度構築支援に関する実証的研究」(研究代表者 河村有教 海上保安大学校・准教授) 研究分担者(海上保安大学校国際海洋政策研究センター客員研究員として参画)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/11)

<p>平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等</p>	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含 つづき) 平成26年度 地域協働研究教育センター地域志向協働研究 「官学連携による「宇治学」副読本作成と現場での活用に関する研究」研究分担者 「宇治・伏見地域の観光資源開発と地域志向」研究分担者 京都文教大学COC事業地域志向共同研究 「地域コミュニティ活性化推進のための制度改革にむけた方策の検討」研究代表者 「宇治3商店街の抱える課題の明確化と活性化に向けた方策の検討」研究分担者</p> <p>(学内活動) 地域協働研究教育センター長、文部科学省COC事業「京都府南部地域ともいきキャンパスで育てる地域人材」事業責任者、自己点検評価委員会委員</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託) ・ 京都市青少年活動推進協議会専門委員「平14.10より」 ・ 山科区基本計画推進会議委員「平23.4より」 ・ 宇治市都市計画審議会職務代理「平18.4より」 ・ 宇治市歴史的風致維持向上計画推進協議会副委員長「平23.11より」 ・ 宇治市観光振興計画推進委員会委員長「平25.4より」 ・ 宇治市コミュニティ活性化推進委員会委員長「平25.4より平27.3まで」 ・ 京都府宇治茶世界遺産登録推進プラットフォーム代表「平25.6より」 ・ 京都府茶業研究所機能強化検討委員会委員「平25.12より平27.3まで」 ・ 京都府お茶の京都推進会議委員「平26.10より」 ・ 京都府宇治茶きらめき街道(仮称)検討部会専門委員「平26.8より」 ・ 中土佐町文化的景観整備委員会委員「平23.10より」 ・ 宇治市まちづくり専門家「平22.4より」 ・ 国土交通省近畿運輸局公共交通利用促進サポーター「平23.3より」 ・ 国土交通省近畿運輸局バリアフリー会議座長「平25.1より」 ・ 神戸学院大学 地域研究センター 外部評価委員「平24.4より」</p> <p>(NPO 法人等の団体への参画) ・ 社会福祉法人宇治福祉園評議員「平23.10より」 ・ 宇治橋通りにぎわいフェスタ実行委員会アドバイザー「平21より」 ・ 京都府茶業会議所 学識理事 「平24.7より」</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師) 平成27年 1月 宇治市管理職研修講師、「官学連携のあり方」</p> <p>(その他) 平成26年度 宇治鳳凰ロータリークラブ 外国人による日本語作文コンクール審査委員</p>
<p>平成二十一～二十五(2009～2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 『グローバル世界の法文化 法学・人類学からのアプローチ』、共著、平成21年8月、福村出版、角田猛之・石田慎一郎編、333p 2. 『よくわかる文化人類学 第2版』、共著、平成22年2月、ミネルヴァ書房、綾部恒雄・桑山敬己編、211p 3. 『東南アジアのイスラーム』、共著、平成24年4月、東京外国語大学出版会、床呂郁哉・福島康博編、414p</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/11)

(論文)

1. 「第7章 フィリピンにおけるイスラーム法制度の運用と課題 離婚事例を中心に」, 単著、平成23年3月、東京外国大学出版会、『東南アジアのイスラーム (ISEA) プロジェクト成果論文集』(第部 イスラームをめぐる法と政治:第7章, pp.104-119)
2. 「地域連携とPBL教育 大学教育の視点から取組と課題を考える」, 共著、平成23年、同志社大学PBL推進支援センター『PBLハンドブック PBL導入のための手引き』

(学会報告、学会活動)

国際学会役職:

平成18年 6月 Secretary, Asian Initiative of Legal Pluralism, Commission on Folk Law and Legal Pluralism, International Union of Anthropological and Ethnological Sciences(国際人類学民族学連合国際多元的法体制学会アジア部会書記)「平24.3まで」

国際学会発表:

1. (単独) Reconsidering the meanings and roles of “cultures” in Japan–The problems and possibilities of “*Rekishi-machidukuri hou: Law of Historical Heritage and Town Management*” at International Congress of Commission on Legal Pluralism, Cape Town, SouthAfrica, September 2012
2. (単独) ‘Legal pluralism and Plural identities in Japan-Contesting legal entities and local governance with floating identities’ (Chiba Memorial Symposium Towards a General Theory of Legal Culture in a Global Context, SOAS, School of Law, 26 March 2012)
3. “Multiple identities of Muslims in the Philippines: Contesting gender situation in local, national and global contexts”, Presented at Panel G38 Contesting universality and particularity in legal and cultural pluralism: an interdisciplinary approach (IUAES Commission on Legal Pluralism) at IUAES2013 World Congress: Evolving humanity, emerging worlds, August 7<sup>th</sup> 2013 at University Place 4.207, University of Manchester, England

国内学会役職:

平成24年 2月 観光学術学会企画理事「現在に至る」

国内学会発表・報告等:

1. 講演「文化を学んで、地域を変える 京都・宇治における学生による観光まちづくり」, 平成23年11月、日本文化人類学会公開シンポジウム「人類学の社会的貢献 ビジネス、災害、地域連携」, 静岡県立大学看護学部13411教室
2. 報告「フィリピン・ムスリムをめぐる多元的法体制状況 実践、ジェンダー、グローバル」, 単独、平成24年11月、2012年度日本法哲学会学術大会・総会、ワークショップ「グローバル状況下での多元的法体制における人権および人権をめぐる法文化 法学・人類学の視点から」, 関西学院大学

研究報告等:

1. 研究報告「フィリピン・ムスリムの法的権利の承認と実現をめぐる諸問題」, 単独、平成21年5月、文部科学省・ニーズ対応型地域研究推進事業「東南アジアのイスラーム (ISEA)」第5回総合ワークショップ、東京外国語大学アジア・アフリカ研究所
2. 講演「フィリピン・ムスリムの生活文化に触れる」(フィリピン在住邦人向け公開講演会「イスラームを知る - フィリピンのイスラームを中心に」), 単独、平成21年9月、文部科学省委託研究「東南アジアのイスラーム (ISEA)」プロジェクト・国際交流基金共催企画、マニラJICA Philippines アトリウム
3. コメンテーター「暴力の記憶にむきあう 政治・宗教・法のあいだ」, 共同、平成22年3月、第8回マイノリティセミナー、関西大学
4. 「フィリピン・ムスリムの法的権利の実践と課題」, 単独、平成22年3月、法文化研究会例会、関西大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/11)

(学会報告、学会活動 つづき)

5. 研究会発表「まとめにむけて 運営体制のあり方について」、単独、平成22年11月、大学コンソーシアム京都高等教育研究会「京都高等教育研究センター高等教育実態研究「地域と社会の教育力を活かした新たな教育システムの研究」」平成22年度第3回研究会、キャンパスプラザ京都
6. 「地域で育てる、地域をつなぐ 文化人類学的教育・研究・地域連携活動」、単独、平成23年10月、京都人類学研究会2011年度10月例会、京都大学
7. 「地域社会からPBL型教育を評価する：地域の教育力を生かす連携型PBLの可能性と課題」、単独、平成23年11月、2011年度第3回PBL推進協議会、同志社大学
8. 研究会報告「東南アジアにおける法制度整備支援について」、単独、平成24年11月、「法制度構築支援（海上保安制度構築支援に関する実証的研究）」研究会、海上保安大学校
9. 研究会報告「人類学の視点から共同研究にいかにかに寄与できるか」、単独、平成24年12月、「法制度構築支援（海上保安制度構築支援に関する実証的研究）」研究会、海上保安大学校

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

翻訳：

1. 「インドネシアにおける法人類学および多元的法体制」(法学研究第38回現代法セミナー「インドネシアの多様な法制度と法文化」) 単訳、平成21年6月、関西大学法学研究所 ノモスNo.24 (pp.60-76)

書評：

1. 「石田慎一郎編『オルタナティブ・ジャスティス 新しい 法と社会 への批判的考察』」、単著、平成25年3月、『文化人類学』第77巻4号 (pp.601-604)

学術講演等：

1. 「文化を学ぶ、文化を伝える 京都文教大学における観光振興の取組」、単独、平成21年7月、やましる観光ネットワーク第1回研究会、文化パーク城陽
2. 「京都文教大学における現場主義教育と地域連携」、単独、平成21年8月、名古屋学院大学現代GP観光研究会、名古屋学院大学
3. 「宇治橋通りの魅力とこれからのまちづくり」、単独、平成22年3月、文化的景観フォーラム「素顔の宇治を未来に活かす」、宇治市生涯学習センター
4. 基調講演「生活を活かすまちづくり 京都府宇治市の歴史と文化をつなぐ取組」、単独、平成23年2月、文化庁主催 四万十川流域の文化的景観5市町連携シンポジウム「川と生き、これからを語る」、四万十会館
5. 趣旨説明「地域ワークライフ・ライフ・バランスまつり「子どもが元気、地域もいきいき！ ～みんなで行動！ パパもママもじいじもばあばも学生も～」」、単独、平成23年3月、地域に根ざしたワークライフバランス推進事業シンポジウム、京都文教大学
6. 討論会コーディネーター：歴史フォーラム「素顔の宇治を未来に活かす まつりが似合うまちなみ」、単独、平成23年3月、宇治市生涯学習センター
7. 「宇治市における地域連携」(事例報告)、単独、平成23年11月、京都橋大学現代ビジネス学部主催大学・秋季フォーラム 部「地域連携の到達点と展望 ～大学はどこまで地域貢献することが可能か～」、キャンパスプラザ京都
8. 宇治市主催文化的景観フォーラム2012「太閤堤と茶どころ宇治のまちづくりシンポジウム」(パネリスト)、平成24年3月、宇治市文化センター
9. 報告：「PBL型教育の可能性と困難 ～プロジェクト科目、学生PJ、フィールドワーク実習の取組から～」、平成24年3月、第2回就業力育成支援勉強会、京都文教大学
10. 「宇治市における観光まちづくりと地域資源」、単独、平成25年10月、宇治市白川まちづくり講演会、宇治市白川
11. 「文化的景観を活かした地域の活性化」、単独、平成25年11月、平成25年度久礼乙姫塾、高知県中土佐町

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 7/11 )

( その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき )

12. 「これからの宇治のまちづくりを考える」単独、平成26年1月、連続講座「うじのかたち」、宇治市宇治公民館

シンポジウム等記録・報告：

1. 「フィールドワーク教育と地域連携 - 京都文教大学人間学部の事例」、共同、平成21年6月、京都文教大学教育GP共同研究会「フィールドワーク教育と地域連携活動」、京都文教大学
2. 「文化・スポーツ・生涯学習・学校教育分野報告」、単独、平成21年12月、「四日市市新総合計画策定に向けたシンポジウム四日市のまちづくりの新たな展開方向について ~ 2020年を展望して ~」、四日市市総合会館
3. 「京都文教大学の現場主義教育『考え、行動できる』人材の育成に向けて」、単独、平成22年2月、特色GP総括シンポ「現場主義教育からみえる課題と展望」、京都文教大学
4. シンポジウムコメンテーター「第6回東洋大学地域連携シンポジウム「紙の仕事を聴く」」、平成24年12月、東洋大学白山キャンパス)
5. 報告「京都・宇治の地域と続ける創造型地域連携活動」、単独、平成25年1月、香川大学経済学部・経済研究所シンポジウム「地域と大学のパートナーシップを考える」、香川大学
6. コメンテーター「神戸学院大学 地域研究センター 2012年度地域研究プロジェクト総括会議」、平成25年3月
7. コメンテーター 「浄土宗宗門関係校社会連携事業報告会」、平成26年2月、浄土宗知恩院和順会館
8. 外部評価「2013年度地域研究プロジェクト総括会議：外部評価委員としてのコメント」、平成26年3月、神戸学院大学地域研究センター
9. 共同研究プロジェクト報告「地域人材育成のためのプログラム構築と制度整備支援にむけた学際的研究」、共著、平成26年3月、共著者：松田美枝、京都文教大学人間学研究所 人間学研究 Vol.14 ( pp.103-104 )

報告書：

1. 「地域と大学 育ち、育てるいい関係をめざして」、単独、平成22年3月、子ども・子育てNPOフォーラムmini、京都文教大学
2. 『2009年度宇治バリアフリーフィールドワーク実習報告書』、編著、平成22年3月、京都文教大学文化人類学科
3. 『2009年度スタンプラリー・まな旅 実践人類学実習報告書』、編著、平成22年3月、京都文教大学文化人類学科
4. 官学連携調査研究報告書『地域と大学及び行政の連携・協働に関する宇治市民調査報告書』、監修・分析・執筆、平成22年6月、宇治市・京都文教大学・京都文教短期大学、59p
5. 官学連携調査研究報告書『地域に根ざしたワーク・ライフ・バランス推進事業成果報告書』、監修・分析・執筆、平成23年3月、宇治市・京都文教学園、160p
6. 『茶のある暮らしの生活誌 2011年度宇治・白川フィールドワーク実習報告書』、編著、平成24年3月、京都文教大学文化人類学科、184p

エッセイ：

1. 「「婚活」「離活」は誰がする？フィリピン・ムスリム社会の婚姻規範」、単著、平成22年7月、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、『Field+ (フィールドプラス)』No.4 ( p.4 )
2. 「未来志向の歴史をつなぐ」、単著、平成23年8月、歴史街道推進協議会設立20周年記念誌 ( p.9 )
3. 「宇治茶の魅力を学んで伝える：京都文教大学「宇治 茶レンジャー」の活動」、単著、平成23年8月、全茶連情報平成23年8月号 ( pp.10 -11 )
3. 「笑顔でつながる地蔵盆」、単著、平成24年3月、大阪ガス株式会社、情報誌CEL100号・特集“まつり”が育む地域の力 ( p.43 )

その他：

1. 『2011年度 プロジェクト科目「観光まちづくり」報告書』、共著、平成24年3月、京都文教大学、森正美・山田香織共編著、96p

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/11)

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

2. 「おわりに」, 単著、平成24年3月、京都文教大学、プレ全国まちづくりカレッジ2011報告書(48p)
3. 「はじめに」, 単著、平成24年3月、2011年度京都文教大学森正美ゼミ卒業論文集(280p)
4. 「モノでつなぐコミュニケーション」, 単著、平成25年2月、第6回東洋大学地域連携シンポジウム報告書集「紙の仕事を聴く」(「紙の総合学習を通じた地域間連携」プロジェクト報告書 6)(pp.55-66)
5. 「プロジェクト科目 観光まちづくり」, 単著、平成25年3月、京都文教大学『平成24年度現場実践科目全体成果報告書』(pp.18-19)
6. 「京都文教大学観光・まちづくり(地域デザイン)コースの概要」, 単著、平成25年3月、京都文教大学・総合社会学部・観光・まちづくり(地域デザイン)コース、『宇治市の観光を考える』(pp.1-4)
7. 「趣旨説明」, 単著、平成25年3月、京都文教大学・総合社会学部・観光・まちづくり(地域デザイン)コース、『宇治市の観光を考える』(p.6)
8. 「意見交換」, 単著、平成25年3月、京都文教大学・総合社会学部・観光・まちづくり(地域デザイン)コース、『宇治市の観光を考える』(pp.22-28)
9. 「京都文教大学観光・まちづくり関連取組紹介 プロジェクト科目「観光まちづくり」」, 単著、平成25年3月、京都文教大学・総合社会学部・観光・まちづくり(地域デザイン)コース、『宇治市の観光を考える』(p.40)
10. シンポジウム報告記録、共著、平成26年3月、京都府『第67回 全国お茶まつり京都大会 宇治茶世界文化遺産シンポジウム 実績報告書』(pp.37-55)
11. シンポジウム報告記録「2012年度地域研究プロジェクト総括会議記録」、共著、平成26年3月、『平成24年度地域研究プロジェクト総括会議記録集』(pp.24-26)、神戸学院大学地域研究センター
12. 「地域研究センター明石グループ評価報告書」、単著、平成26年3月、『平成24年度地域研究プロジェクト総括会議記録集』(pp.33-34)、神戸学院大学地域研究センター

(調査活動)

- 平成21年 9月 フィリピン・マニラでのプロジェクトによる調査  
(文部科学省・世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業：後述)
- 平成24年 3月 イギリスにおけるニュータウンの調査および国内・海外の博物館やコミュニティセンターなどでアーカイブ構築のための資料収集(科学研究費補助金課題番号23360263：後述)
- 平成24年 7月 ドイツベルリンおよびライネフェルデの大規模団地調査  
(科学研究費補助金課題番号23360263：後述)
- 平成25年 2月 高知県四万十川流域文化的景観調査
- 平成25年 8月 フランスパリおよびパリ近郊の文化的景観とその活用に関する調査(個人研究費による)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

- 平成17年度-平成21年度  
科学研究費補助金(基盤研究B)「ニュータウン・大規模団地における中間集団の役割と可能性」  
(課題番号17300232, 研究代表者：日本女子大学・家政学部・助教授 篠原聡子) 研究分担者
- 平成18年10月-平成23年 3月  
文部科学省・世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「東南アジアのイスラーム：トランスナショナルな連関と地域固有性の動態」(ISEA)研究分担者
- 平成20年度-平成23年度  
京都高等教育研究センター高等教育実態研究「地域と社会の教育力を活かした新たな教育システムの研究」研究員
- 平成22年度 宇治市政策研究「地域ブランド」の構築に向けた基礎調査」共同研究者

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の主な研究成果等



平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (9/11)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含 つづき) 平成23年度-(4年間) 科学研究費補助金(基盤研究B)「地域生活記憶集積メカニズムの解明とアーカイブ施設の社会実験及びその運営手法の構築」(課題番号23360263, 研究代表者: 東京大学大学院工学系研究科・准教授 大月敏雄) 研究分担者 平成23年度-平成25年度 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究プロジェクト「東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究」(研究代表者: 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター 連携地域研究班・准教授 床呂郁哉) 共同研究員 平成23年度 1. 宇治市文化的景観事業「宇治茶スタンプラリー」業務委託実行委員会委員長 2. 京都府地域力再生プロジェクト支援事業公布金(補助金) 平成24年度-平成25年度 海上保安大学校「法制度構築支援(海上保安制度構築支援に関する実証的研究)研究会」(研究代表者: 海上保安大学校・准教授 河村有教) 共同研究員
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(学内活動) 平成19年 4月 特色GP委員会委員長「平22.3まで」 平成20年10月 FW実習委員会委員(学科)「平22.3まで」 平成22年 4月 就職委員会委員「平23.3まで」 地域連携委員会委員(委員長「平24.3まで」)「平26.3まで」 文化人類学科 学科運営委員会委員「平23.3まで」 文化人類学科修学旅行プロジェクト委員「平24.3まで」 学生サロン棟検討委員「平23.3まで」 平成23年 4月 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平25.3まで」 教務委員会委員「平25.3まで」 平成24年 4月 人間学研究所所員「平25.3まで」 (自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託) 平成14年10月 京都市青少年活動推進協議会専門委員「現在に至る」 平成18年 4月 宇治市都市計画審議会職務代理「現在に至る」 平成19年度 平成19年度採択文部科学省特色GP「現場主義教育充実のための教育実践 地域と結ぶフィールドワーク教育」事業推進責任者「平22.3まで」 平成20年 1月 宇治市交通バリアフリー推進連絡会副委員長「平23.7まで」 平成21年 7月 京都府やましろ観光ネットワーク研究会メンバー「平23.3まで」 平成21年 8月 四日市市総合計画策定にかかる分野別総合検討会議【文化・スポーツ・生涯学習・学校教育分野】アドバイザー「平23.3まで」 平成21年 8月 山科区基本計画策定委員「平23.3まで」 平成22年 3月 宇治市歴史的風致維持向上計画検討委員会委員「平23.11まで」 平成22年 4月 京都市宇多野ユースホステル指定管理者選定委員会委員長「平23.3まで」 京都市共同参画社会推進施設指定管理者選定委員会副委員長「平23.3まで」 平成22年度近畿運輸局京都運輸支局交通消費者行政会議座長「平23.2まで」 宇治市まちづくり専門家「平24.3まで」 平成23年 3月 国土交通省近畿運輸局公共交通利用促進サポーター「現在に至る」 平成23年 4月 山科区基本計画推進会議委員「現在に至る」 平成23年10月 中土佐町文化的景観整備委員会委員「現在に至る」 平成23年11月 宇治市歴史的風致維持向上計画推進協議会副委員長「現在に至る」

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 10/11 )

(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託 つづき)

- 平成23年12月 宇治市町内会・自治会活性化委員会委員長「平25.3まで」  
 平成24年 4月 神戸学院大学 地域研究センター 外部評価委員「現在に至る」  
 平成24年 5月 宇治市観光振興計画策定委員会委員「平25.3まで」  
 宇治市観光基本計画策定委員会専門委員会 座長「平25.3まで」  
 平成25年 1月 国土交通省近畿運輸局バリアフリー会議座長「現在に至る」

(NPO法人等の団体への参画)

- 平成21年 宇治橋通りにぎわいフェスタ実行委員会アドバイザー「現在に至る」  
 平成23年10月 社会福祉法人宇治福祉園評議員「現在に至る」  
 平成24年 7月 京都府茶業会議所 学識理事「現在に至る」

(小中高との連携授業の講師)

- 平成21年 6月 出張授業「ズームイン宇治：フィールドワークの基礎的方法」於：宇治市立菟道第二小学校  
 平成21年10月 京都文教高等学校ALP講師、「文化を知る、文化を伝える 京都/宇治のおみやげを考えよう」於：同校  
 平成22年 5月 京都文教高等学校ALP講師、「一人一人にできること - 観光バリアフリーのフィールドワークと提案」於：同校  
 平成22年 7月 上宮高等学校高大連携研修講師、「上宮高等学校・ドイツ修学旅行におけるフィールドワーク」於：同校  
 平成22年 9月 フィールドワーク講座「見る目を育てて世界を変えよう」於：秋田県立横手清陵学院中学校  
 平成22年10月 京都文教高等学校ALP講師、「文化を学び、文化を伝える」於：同校  
 平成23年 6月 京都の大学『学び』フォーラム 模擬授業「抹茶スイーツとゆるキャラ：観光と文化の関係性」於：立命館大学草津キャンパス  
 平成24年 3月 1. 兵庫県立西宮今津高等学校2年生対象出張講義講師、「フィールドワークの基本を学ぶ：あるく、みる、きく、よむ」於：同校  
 2. 京都すばる高等学校1年生対象進路相談会 講師、「観光・地域デザインを学んでできること」於：同校  
 平成24年 6月 京都の大学『学び』フォーラム 模擬授業「若者目線でつくる旅 観光・地域デザイン in宇治」於：龍谷大学瀬田キャンパス  
 平成24年 8月 京都文教大学オープンキャンパス 模擬講義「観光・地域デザインを学んでできること 宇治をみんなで売りだそう」於：京都文教大学  
 平成24年 9月 兵庫県立西宮今津高等学校出張講義「フィールドワークの基本を学ぶ あるく、みる、きく、よむ」於：同校  
 平成25年 9月 京都文教高等学校ALP「観光・地域デザインの学び」於：同校

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成21年 8月 宇治市・平成21年度まちづくり塾第2回、講演「ヒントは現場にある!? タウンウォッチングの基本と実践」於：宇治市生涯学習センター  
 平成21年11月 宇治市・平成21年度まちづくり塾第5回、講演・指導「タウンウォッチングの基本、タウンウォッチング・ワークショップ」於：宇治市役所  
 平成22年 3月 中央公民館講座「宇治の魅力再発見」第4回、講演「歩いて暮らせるまちづくり」於：宇治市中央公民館  
 平成22年 6月 京都文教中学校・高等学校教職員研修講演「京都文教大学の現場主義教育とPBL教育の可能性」於：京都文教中学校・高等学校

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 11/11 )

平成二十一年(二十五) (2009~2013) 年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成22年10月 宇治市・平成22年度まちづくり塾第2回、講演「みえないものまでみる方法 楽しくわいわい課題発見タウンウォッチング」、於：宇治市役所
- 平成23年10月 宇治市・平成23年度まちづくり塾第2回、講演「まちをみる・感じる、まちの個性をみつけよう：楽しくできるタウンウォッチングの基本」、於：宇治市役所
- 平成23年11月 宇治市白川まちづくり協議会文化講演会、「地域における歴史・文化と生活の営みについて」、於：白川集会所(宇治市)
- 平成24年 8月 スピーチ「若者と創るまちの元気」、宇治鳳凰ロータリークラブ例会、於：パルティール京都
- 平成25年 1月 宇治市防災ワークショップ講師、於：宇治市生涯学習センター
- 平成25年 2月 講演「地域文化を伝えるまちづくり」、高知県津野町第2回津野山塾
- 平成25年 3月 ゲストスピーカー「京都市青少年モニター制度の評価と展望」、京都市青少年モニター制度報告会、於：ウイングス京都
- 平成25年 7月 京都中小企業同友会 まちづくりフィールドワーク講座研修、於：京都文教宇治橋通りサテライトキャンパスおよび中宇治地域一帯
- 平成25年10月 1. コーディネーター「宇治茶世界遺産シンポジウム」、於：宇治市文化センター  
2. 地域経営まちづくり塾 宇治まちづくりフィールドワーク講師、於：京都文教宇治橋通りサテライトキャンパスおよび中宇治地域一帯
- 平成25年11月 宇治市高齢者アカデミー アカデミーアワー、「宇治のまちづくり」、於：京都文教大学
- 平成26年 1月 ワークショップ 趣旨説明・講師、「宇治市防災ワークショップ」、於：宇治市小倉公民館
- (その他)
- 平成18年 6月 Secretary Asian Initiative of Legal Pluralism, Commission on Folk Law and Legal Pluralism, International Union of Anthropological and Ethnological Sciences「平23.3まで」
- 平成19年 8月 フィリピン共和国 アテネオ・デ・マニラ大学フィリピン文化研究所客員研究員「平22.3まで」
- 平成25年 5月 京都文教大学教育後援会 講演「京都文教大学の現場主義教育」、於：京都文教大学
- 平成25年 8月 京都学生祭典中間振り返りワークショップ 研修講師、於：キャンパスプラザ京都
- 平成25年10月 京都学生祭典振り返りワークショップ 研修講師、於：キャンパスプラザ京都